

国語科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- 読書推進の取組により、楽しんで読書する児童が増えてきた。
- 場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化に着目させることで、物語文の様子などを想像して読み進めることができた。

(2) 課題

- 日常的に読書に親しんでいない児童が多かったり、読書の幅に偏りがあったりすること。
- 既習の漢字が十分に定着していないこと。
- 文や文章に自分の考えを書き表すことが苦手な児童が多いこと。

2 観点ごとの実態・学習効果測定結果の分析

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識・技能	・大半の児童が平仮名の五十音を読むことができる。 ・多くの児童が、簡単な文章を音読することができる。	・音読の能力が身に付いている。 ・漢字の習得率が低い。	・既習の漢字を使って文章を書くことに難しさを感じている児童が多数いる。 ・多くの児童が、言葉のまとまりを捉え、正しくすらすらと音読できる。	・目標値よりやや低い。 ・漢字の習得や文章の書き方の知識理解が不十分である。	・目標値よりやや低い。 ・既習の漢字の読みは目標値を上回っており、概ね定着している。 ・既習の漢字の書きは、目標値を大きく下回っており、定着が不十分である。	・目標値よりやや低い。 ・既習の漢字習得に個人差が大きく、漢字の読みが目標値に到達していない。 ・修飾語や敬語についての理解が不十分である。
思考・判断・表現	・「いつ、どこで、だれと、なにをした」などを入れて、話したり書いたりすることができるようになってきた。	・簡単な話題や内容であれば、話したり書いたりする表現ができる。 ・文章の内容を読み取る力には、個人差が見られる。 ・落ち着いて話を聞けるが、大事なことを聞き取る力には個人差が大きい。	・相手に伝わるように理由を挙げながら、話の構成や内容を考えることができる。 ・文章中の言葉をもとにして自分の考えをもち、表現することに課題がある。	・目標値よりやや低い。 ・叙述をもとに自分の考えをもったり、筆者・作者の考えや主張を捉えたりすることに課題がある。 ・書くことの領域では、段落構成、自分の考えを表現することに課題がある。	・目標値よりやや低い。 ・事例を挙げながら、相手に伝わるように話す力が目標値に達していない。 ・段落の役割を理解し、構成を意識した文章を書くことに課題がある。	・目標値よりやや低い。 ・話し合いをもとに文章を書く能力が目標値を下回っている。 ・自分の考えを言葉にすることや、筋道立てて文章を書くことを苦手としている児童が多い。
主体的に学習に取り組む態度	・平仮名の練習や音読劇などの活動に、楽しみながらすすんで取り組んでいる。 ・本への関心をもち、楽しんで読書しようとしている。	・漢字や音読の練習には、熱心に取り組んでいる。 ・読書への意欲・関心は高く、本に親しんでいる。	・新出漢字や言葉の習得に意欲的な児童が多く、既習事項を活用しようとしている。 ・思いや考えをすすんで伝え合おうとしている児童が多い。 ・読書に親しんでいる児童は多いが、読書の幅はあまり広くない。	・説明文の内容を読み取る力が目標値を大きく下回っている。 ・読書には親しみ、おすすめの本を紹介することができるが、読書の幅が偏っている。	・書くことに関する結果が目標値よりやや低い。 ・文章を書くことに苦手意識があり、記述式の問題に取り組めない児童が一定数いる。 ・読書に対する意欲が高い児童と低い児童の個人差が大きい。	・目標値とほぼ等しい。 ・目的や意図に応じて文章を書くことに苦手意識がある児童が多い。 ・読むことに苦手意識がある児童が一部いる。

3 課題と授業の改善策

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
課 題	知識・ 技能	・字形や筆順を意識して、文字を書くこと。 ・助詞（は、を、へ）や促音、長音、拗音等を正しい表記で書くこと。	・既習漢字を文や文章の中で使って書くこと。 ・助詞（は、を、へ）や促音、長音、拗音等を正しい表記で書くこと。	・筆順や部首を意識して正しい字形で漢字を書くこと。	・筆順や部首を意識して正しい字形で漢字を書くこと。 ・文章の基本的な書き方を理解すること。	・漢字の書き、言葉の基礎的な知識を定着させること。	・漢字の読み書き、言葉の基礎的な知識を定着させること。
	思考・ 判断・ 表現	・話を集中して聞いたり、文章の大体を捉えたりすること。 ・自分の伝えたいことを、言葉で表すこと。	・文章の内容の大体を捉えること。 ・伝えたいことを明確にすること。	・文章中の言葉をもとにして文章の内容を捉えること。 ・伝えたい内容を整理して、言葉や文章に表すこと。	・叙述をもとに文章の内容を捉えること。	・文章全体の要旨を把握し、自分の考えをまとめたり、要約したりすること。	・登場人物の心情や文章全体の構成を捉え、自分の考えをまとめたり、要約したりすること。
	主体的 に学習 に取組 む態度	・伝えたいことを言葉や文で書こうとすること。	・漢字を使って書こうとすること。	・既習の漢字を用いて伝えたいことを分かりやすく書こうとすること。 ・幅広く読書をする事こと。	・自分の思いや考えを書いて伝えようとする事こと。 ・幅広く読書をする事こと。	・自分の考えを伝えるための語彙を増やそうとする事こと。 ・すすんで読書をする事こと。	・自分の考えを表現するよさを認識し思いや考えを伝え合おうとする事こと。 ・すすんで読書をする事こと。
授 業 の 改 善 策	知識・ 技能	・平仮名・片仮名・漢字の練習や小テストを通して、文字を正しく書く力を習得させていく。 ・助詞や促音・長音・拗音等を正しく書けるように、短文作りやMIMを活用していく。	・書写や短作文、小テストの学習で、漢字や助詞等を正しく表記できるよう練習を重ねていく。 ・助詞や促音・長音・拗音等を正しく書けるように、短文作りやMIMを活用していく。	・朝学習の時間を活用するなど、日頃から漢字の学習に取り組ませていく。 ・筆順や部首を意識させ、空書きやなぞり書きなどを通して、漢字の正しい字形を習得させていく。	・漢字の部首や意味を確かめながら、練習を重ねていく。 ・伝えたいことを明確にし、自分の考えを書き表す機会を設定していく。	・漢字のきまり等を意識させながら漢字の練習を重ねていく。 ・辞書を使って意味調べをすることで言葉の意味を正しく理解したり、使える語彙を増やしたりしていく。	・朝学習の時間を活用し、漢字のきまり等を意識させながら漢字の練習を重ねていく。 ・辞書を使って意味調べをすることで、使える語彙を増やしていく。
	思考・ 判断・ 表現	・少人数での対話や話し合いを取り入れ、自分の考えを伝えたり、人の話を最後まで聞いたりする力を身に付けさせる。	・文章を読み取る学習で、人物や場面の様子や説明の内容を正しく捉える力を身に付けさせる。 ・経験したことや想像したことを振り返る際に観点を示し、書くことを見付けられるようにする。	・様子を表す言葉や順序を表す言葉など、着目する言葉を意識して捉える力を身に付けさせる。 ・「はじめ・なか・おわり」を常に意識し、自分の伝えたいことや考えたこと、感じたことなどを工夫して表現させる。	・接続語や文章中に繰り返してくる言葉に着目させ、内容の中心を捉えさせる。 ・「はじめ・なか・おわり」を常に意識し、自分の伝えたいことや考えたこと、感じたことなどを工夫して表現させる。	・文章全体の構成や段落相互の関係に注目して、読むことで文章の要旨を捉えさせる。 ・自分の考えを書くことを日常に取り入れ、自分の思いや考えを広げさせる。	・読む活動や書く活動において文章全体の段落構成などの既習事項をおさえながら活動させる。 ・毎日の日記や行事後の作文など自分の考えを書くことを日常に取り入れ、自分の思いや考えを広げさせる。
	主体的 に学習 に取組 む態度	・授業の導入を工夫し、学習に興味・関心をもたせ、すすんで活動する意欲を高める。	・短作文や観察カードの記録を書く活動で、正しく漢字や助詞等を表記する意識付けを図っていく。	・文章を書く活動では、既習の漢字を用いて表記することへの意識付けをする。 ・様々な本に触れさせ、幅広く読書をする楽しさを味わわせる。	・スモールステップで学習を進め、「できた」という経験を積ませ、自信につなげる。 ・様々な本に触れさせ、幅広く読書をする楽しさを味わわせる。	・日常的に辞書などを活用して語彙をふやす。 ・おすすめの本を伝えあう活動を通して、読書への興味や関心を高め、すすんで読書をする態度を育てる。	・少人数での対話や話し合いを取り入れ、自分の考えを表現するよさを味わわせる。 ・おすすめの本を伝えあう活動を通して、読書への興味や関心を高め、すすんで読書をする態度を育てる。